

老眼鏡に接着剤なしで貼れる取り外し自由なルーペ ーネオタック®ー

日本ライトハウス養成部 田邊正明
ホプニック研究所 高木俊治

目的

弱視レンズは手持ち式、卓上式、掛け眼鏡式など、値段は100円ショップで手に入る拡大鏡から、高価な弱視眼鏡まで多種多様である。多くの人はロービジョンの専門家のアセスメントを受けて購入する機会は少なく、日用品を販売する量販店などで入手している。老視に対する近方視用補助具は老眼鏡であるが、眼疾患により老眼鏡でも文字が読めない場合には度数を上げれば視距離を短くすることで拡大効果が生まれ文字を読める。老眼鏡の度数を上げる従来の製品には眼鏡フレームに1) クリップ式のルーペを付ける、2) オーバーグラスのルーペを用いる、3) 貼り付け型の凸レンズをレンズに装着するという方法がある。1)と2)の製品はすでに市販されており、誰もが量販店などで容易に入手できるが、3)の貼り付ける凸レンズは、従来のタイプは糊付け部分を眼鏡フレームに一度接着すると再度取り外して張り付けることはできず、値段も高く容易に購入はできなかった。そこで廉価で眼鏡フレームに自由に張り付けてすぐに拡大の効果を確認でき、弱視レンズを手軽に利用できるアイテムを開発する。

方法

水分を使わずに眼鏡レンズ部分に密着させると吸着する素材を利用し、眼鏡レンズに凸レンズを自由に着脱可能とした。屈折力は+6.25D、+8D、+9.00D、+10D、+11D、+12D、+16D、+20D、+24D、+28D、+32D、レンズ径は20mm~25mmで製品化(商品名:ネオタック)した。ソフトコンタクトレンズを装着するような感覚で、眼鏡フレームのアイポイントに合わせて装着し、弱視眼鏡を簡易に作成できるようにした。



ご自由にはがして試用してください



結果

レンズ拡大効果を老眼鏡の延長で手軽に体験できるようになった。視距離は40cmよりも短くなるため、老眼鏡よりも紙面を近くして見ることを説明する必要がある。

考察

貼り付け型のルーペはセットでも置き場所に困らず、小さな店舗でも販売が可能になると考えられる。

+8Dのサンプル送付をご希望の方はお名刺を右のボックスにお入れください。